

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

アトルバスタチン錠 5mg 「DSEP」、アトルバスタチン錠 10mg 「DSEP」

一般名： アトルバスタチン カルシウム水和物 (Atorvastatin Calcium Hydrate)	販売名 形状（製剤写真等）	アトルバスタチン錠 5mg 「DSEP」 	アトルバスタチン錠 10mg 「DSEP」 
--	-----------------------------	--	--

1. どんな薬

- この薬は、肝臓でコレステロールが作られるのをおさえて、血液中のコレステロールを減らします。[HMG-
CoA還元酵素阻害剤]

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

- ⊗ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。
 - ・過去にアトルバスタチン錠「DSEP」に含まれる成分で過敏症*のあった人
 - *過敏症：体がゾクゾクして寒く感じる、ふらつき、汗をかく、熱が出る、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる、唇のまわりがはれる、息がしにくいと感じる、かゆみ、皮ふにブツブツができる
 - ・肝臓で薬を分解する力が低下している人（急性肝炎*、慢性肝炎の急性増悪*、肝硬変*、肝臓のがん、黄疸*）
 - *急性肝炎：急に起こる肝臓の炎症
 - *慢性肝炎の急性増悪：長く続く肝臓の炎症が急に悪くなること
 - *肝硬変：肝臓の障害が長く続き、肝臓が硬くなった状態
 - *黄疸：目の白い部分や皮ふが黄色くなる状態
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人、授乳中の人
 - ・グレカプレビル・ピブレンタスビルを使用している人
- 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。
 - ・糖尿病の人
 - ・横紋筋融解症*があらわれやすい人（甲状腺機能低下症*の人、遺伝性の筋肉の病気（筋ジストロフィー*など）のある人・家族にいる人、過去に薬が原因で筋肉に障害が起きたことがある人、アルコール中毒の人）
 - *横紋筋融解症：筋肉の細胞がこわれて筋肉痛や力が入らない病気
 - *甲状腺機能低下症：甲状腺ホルモンの分泌が不足することで全身の代謝が低下する病気
 - *筋ジストロフィー：筋肉がこわれて力が入りにくなる病気
 - ・重症筋無力症*の人、または過去に重症筋無力症*があった人
 - *重症筋無力症：神経から筋肉への合図がうまく伝わらなくなり、筋肉に力が入りにくなる病気
 - ・腎臓に障害のある人、または過去に腎臓に障害があった人
 - ・腎臓の働きを調べる検査で異常があった人
 - ・肝臓に障害のある人、または過去に肝臓に障害があった人
- この薬には一緒に使用してはいけない薬や、一緒に使用する場合に注意が必要な薬や飲み物があります。他

の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

- この薬の使用により、以下のような症状があらわれることがあります。これらの症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用など
急に意識がぼんやりしたり、はっきりしなくなる、目の白い部分が黄色っぽくなる、皮ふが黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹がパンパンになる感じがする、急に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（明るい～黒ずんだ赤色または黒色に見える）、体が重くて動きたくない感じがする、吐き気、吐く、食欲がない、熱が出る、お腹の上のほうが痛い	げきしょうかんえん 劇症 肝炎 などの 肝炎
急に高い熱が出る、体がゾクゾクして寒く感じる、のどの痛み	むかりゅうきゅうしゅう 無顆粒球症
めまい、鼻血、耳の中で「キーン」という高い音や「ザー」という低い音が聞こえる、歯ぐきからの出血、息がハアハアして苦しくなる、ドキドキする、あおあざができる、出血しやすい、熱が出る、体がゾクゾクして寒く感じる、のどの痛み	はんけっきゅうげんしょうしゅう 汎血球 減少症
鼻血、つばや痰（たん）に血が混じる、血を吐く、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい	けっしょうばんげんしょうしゅう 血小板 減少症
体が重くて動きたくない感じがする、体重が減る、のどがかわく、水を多く飲む、尿の量が増える	高血糖、糖尿病
手足のこわばり、手足のしびれ、力が抜けてだるく感じる、筋肉の痛み、尿が赤っぽい茶色になる	おうもんきんゆうかいしゅう 横紋筋 融解症

4. ほかに知られている副作用

「3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと」に記載されている副作用のほか、比較的によくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
お腹が痛い、水のような便が出る、泥のようなゆるい便が出る	げり 下痢
胃がムカムカして気持ち悪い、胃がもたれる	いふかいかん 胃 不快感
皮ふにできたできものや傷	ぼっしん 発疹

5. 保管方法

直射日光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。

この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：第一三共エスファ株式会社（<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>）

電話：お客様相談室 0120-100-601、受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>